

パブリックコメントのご意見と市の考え方

ページ	項目	ご意見	ご意見に対する市の考え方
50	(4)本市の都市づくりの 基本理念・将来都市像の実現 に必要な都市構造の考え方 ①「職住近接」による持続可能な 集約・連携型都市の構築」の実 現に必要な都市構造の考え方	「職住近接」とは、そもそも職場と住居が近い場所にあるということです。 都市づくりの基本理念として「職住近接」を掲げているので、湖西市 内の大きな工場の周辺に従業員が住むことが出来るようにすれば、 人口が増えるし、朝晩の道路の混雑解消もするし、街の賑わいにも つながると思います。	本市は市外から約1万8千人が通勤する働くまちです。 現在、“働くまちから、働いて暮らすまちへ「職住近接」”をテーマとし、 市外からの移住・定住を促すとともに、市民が自然豊かな湖西市で ゆとりある生活ができるよう住環境の整備等に取り組んでいます。 いただきましたご意見のとおり、「職住近接」の実現には、大きな工場 のすぐ近くに住居があることが有効であります。一方で、工場周辺 に利便性の低い住宅地が無秩序に広がったり、工場と住宅が混在 することで住環境に影響が及んだりすることが懸念されます。 こうしたことから、本マスタープランではp.47に示す「集約・連携型都 市構造」を基本とし、p.40やp.61に記述したとおり利便性が高い既成 市街地内の未利用地の活用促進や既存集落の活力維持を図る施 策に取り組むこととしており、移住・定住施策との連携を図りながら、 職住近接の実現を図ってまいります。
68,72	(1)都市交通体系の整備方針 ①道路交通体系の整備方針	湖西市内の道路交通体系について、浜松湖西豊橋道路の整備に より、市内にもインターチェンジが出来ると、市内の交通事情は大きく 変化すると思われます。 このマスタープランでは、インターチェンジへのアクセス道路として 市の西側に南北方向の道路が構想されておりますが、東西方向の 道路も必要だと思います。特に、県道豊橋湖西線と国道1号線との 間には、東西方向の2車線道路が無いので、そうした道路の構想が あってもよいのではないのでしょうか。	今回の都市計画マスタープランの改定では、(仮称)浜松湖西豊橋 道路インターチェンジへのアクセス道路として、市の西側を南北に貫 く構想道路を位置付けしています。 今後、(仮称)浜松湖西豊橋道路本線やインターチェンジの具体的 な計画が示されて行く中で、今回のマスタープランに位置付ける南北 方向の構想道路や、ご意見いただきました東西方向の道路も含めた 湖西市内の望ましい道路ネットワークについて分析・検討を進め、必 要に応じて都市計画マスタープランにも反映してまいります。
69	(1)都市交通体系の整備方針 ②公共交通体系の整備方針 ■デマンド型乗合タクシー ■持続可能な公共交通ネット ワークの構築	広島県福山市では、ヤマハ発動機の車両を活用した「グリスロ潮待 ちタクシー」が運行されています。狭い道でも走行でき、窓がないた め景観を楽しみたい観光客の移動手段や、地元の高齢者の足にも なり、地域振興が期待されています。 湖西市においても、ラストワンマイル問題の解消に向け、新居関所 の周辺や郊外の集落地等で、こうしたグリスロによるデマンド型乗合 タクシーを導入してはいかがでしょうか。	いただきましたご意見のとおり、グリスロによるデマンド型乗合タク シーの導入は、ラストワンマイル問題の解消や、今後、予想される運 転者不足への備えとして、有効な手段の一つであると認識していま す。 利便性が高く、かつ、持続可能な公共交通の確保に向け、公共交通 利用者等の声を聴きながら、p.69に記述のとおり、あらゆる資源を活 用して、新たなモビリティの導入や制度の活用について研究を進めて まいります。
70	(1)都市交通体系の整備方針 ③移動空間の整備方針	私の湖西市内の行動範囲は自宅から駅までであり市内の北部や 西部は分かりませんので、鷺津市街地の都市機能から思う意見 です。市街地内の道路は歩道が整備されつつあり、歩行者やシニア カーに乗った高齢者が安全に行き来できるようになりそうで良いと思っ ています。	鷺津市街地内では、現在、都市計画道路鷺津駅谷上線の道路拡 幅及び歩道新設の工事を進めています。引き続き、あらゆる市民が 豊かに暮らすことができるよう、p.70に記述のとおり、市街地内にお ける安全・安心な歩行空間の確保、さらには、良好な暮らし環境の実 現に取り組んでまいります。